

①実習期間

令和3年7月30日～令和3年9月10日

②学生氏名

片岡さん

③実習内容

- ・こどもにほんご教室への参加
- ・外国語講座アンケート集計
- ・こどもにほんご教室教材等の片づけ・報告記事作成
- ・外国人学生かがわホームビジットオンライン交流会の補助
- ・(公財)香川県国際交流協会の事業説明
- ・多文化共生についての講義
- ・やさしい日本語研修の報告記事作成
- ・他県で実施されている外国人と日本人が一緒にしている防災訓練事例探し
- ・香川県災害時多言語支援センターの紹介
- ・多言語支援センター マニュアルやチラシ調べ・チラシ作成
- ・防災対策支援シミュレーション「多言語翻訳の支援」フローチャートの作成

④学び・気づき

私は、香川県で生まれ育った中で外国人の方と関わる機会が少なかったため、在留外国人についての問題などに関心を持っていませんでした。しかし、大学から防災ボランティアや観光について学んでいくにつれ、日本においても外国人の存在はとても大きなものであると思い始めました。そしてこの実習を通して、アイパル香川では外国人に対してどのような事業・支援を行っているか事業内容を理解することができました。まだまだ香川ひいては日本での外国人に対する支援などは不十分であり、日本の大きな課題となっていると感じました。また、地域と外国人住民とのつながりがこれから大事になってくるということがわかりました。少子高齢化が進む中で地方が活性化していくには、今後増えていこう外国人住民の存在が必要不可欠であり、そのための制度であったり、支援・協力であったりを官民一体となって取り組んでいかなければならないと感じました。特に、災害時支援では様々な習慣を持つ外国人に対して日本人の理解や認識が追い付いていないため、日本人の認識も変えていく重要性も感じました。

⑤今後に向けた抱負

私は、今回の実習で学んだことを様々なところで活かしたいと思いました。将来、就職したときだけでなく、日常生活においても外国人、多文化共生の考えを自分の考えの根底に持っておきたいです。そして、視野が広く、アンテナを多くはっているような社会人になっていきたいと思います。また、今回の実習において、多くの課題も浮き彫りとなりました。例えば、事務作業おける正確性や速さ、発想力など、社会人にとって足りないスキルを学生のうちに感じる事ができたのは、良かったと思いました。それも、今回の実習を受け入れてくれたアイパル香川さんのおかげであり、かけがえない経験をさせていただき、感謝申し上げます。

残りの大学生活や就職活動、社会人となってからも地域や香川に貢献できるよう、この経験を活かし精進していきます。